

出張報告

報告日 令和5年11月20日

会派名	公明党
報告者氏名	西川弘美
種別	<input type="checkbox"/> 調査研究（ <input type="checkbox"/> 行政視察） <input checked="" type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 各種会議
用務	地方議会セミナー（株式会社 廣瀬行政研究所主催）参加
日時	令和5年11月9日（木）10:00 ~ 同日 17:00
場所 （会場）	オンライン参加
調査項目等	研修会参加
概要	戦略的な質問方法を考える～具体的な作成方法とともに～ 10:00～13:00「戦略的一般質問のススメ」 講師：■■■■（前尼崎市長） 14:00～17:00「実現につながる一般質問の作り方」 講師：■■■■（前兵庫県議会議員・元伊丹市議会議員） （当日資料別添）
所感等	両講師共に元議員、そして■■氏は市長、■■氏は議長を経験し、議会の一般質問について俯瞰的な視点から講義いただいた。 まず、議員としての自己分析の必要性に言及し、多様な議員がいるからこそ議会は力を発揮するのであって、支持層、期数、年齢、属性などを踏まえ、自分の役割を意識することが大事だとあった。新人としての役割や視点もあると言われ、自身の役割を原点に立ち返って考えることができた。 その上で、議会の一般質問は戦略と獲得目標を明確にし、しっかり勉強したことを公の場で質していくことであり、質問までの事前の準備や当局とのやりとりが重要であるとの心構えが理解できた。一般質問のパターン例の一つである“政策実現型”は、より戦略的に行い、“論点の次元を意識する”“答弁を受けて議論を深める”“実現できるよう掘り下げる”等とあったが、今後、日々の研鑽の中で培っていききたい。 自身の一般質問においては数々の反省もあったが、今回の研修で基本的・具体的な手法を学べたので、今後に生かしていきたい。また、一般質問の一連の流れや当局とのやり取りを通じ、よりよい政策実現を目指していきたいと感じた。